KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT

日民法

二 2
2453

錢小割羹用

毛貫文ニ付八文二分ヲ引キ百文五分
ヤ[illegible]ニ付毛文ニ付[illegible]ある

八文六分	毛文ニ付百十六文	八文七分	円百十四文五五	八文八分	円百十三文二ア	八文九分	円百十二文二リ	九文	毛文ニ付百十文六ア九リ	九文一分	円百九文三ア
九文二分	円百八文二ア	九文三分	円百七文四ア	九文四分	円百六文九ア	九文五分	円百五文八ア	九文六分	円百四文八ア	九文七分	円百三文七ア
九文八分	円百二文七ア	九文九分	円百一文七ア	十文	円百文六ア	十文一分	円九十九文五ア	十文二分	円九十八文五ア	十文三分	円九十七文四ア
十文四分	円九十六文四ア	十文五分	円九十五文三ア	十文六分	円九十四文三ア	十文七分	円九十三文二ア	十文八分	円九十二文二ア	十文九分	円九十文一ア
十文十分	円八十九文一ア	十一文	円八十八文一ア	十一文一分	円八十七文一ア	十一文二分	円八十六文一ア	十一文三分	円八十五文一ア	十一文四分	円八十四文一ア
十一文五分	円八十三文一ア	十一文六分	円八十二文一ア	十一文七分	円八十一文一ア	十一文八分	円八十文一ア	十一文九分	円七十九文一ア	十二文	円七十八文一ア
十二文一分	円七十七文一ア	十二文二分	円七十六文一ア	十二文三分	円七十五文一ア	十二文四分	円七十四文一ア	十二文五分	円七十三文一ア	十二文六分	円七十二文一ア
十二文七分	円七十一文一ア	十二文八分	円七十文一ア	十二文九分	円六十九文一ア	十三文	円六十八文一ア	十三文一分	円六十七文一ア	十三文二分	円六十六文一ア
十三文三分	円六十五文一ア	十三文四分	円六十四文一ア	十三文五分	円六十三文一ア	十三文六分	円六十二文一ア	十三文七分	円六十一文一ア	十三文八分	円六十文一ア
十三文九分	円五十九文一ア	十四文	円五十八文一ア	十四文一分	円五十七文一ア	十四文二分	円五十六文一ア	十四文三分	円五十五文一ア	十四文四分	円五十四文一ア

門二号
2453

九々しん声

三二ノ四　二三ノ六　二四ノ八　二五十二　二六十二　二七十四
二八十六　二九十八　三〇二十　三一二十二　三二五十五　三三六十八
三七　九一　三八九四　三九七四　四〇十六　四五二十　四六九四
四七　九八　四八八二　四九三六　五〇五九　五五八三十　五七九五
五八四十　五九四十五　六〇三十五　六七四十二　六八四十八　六九八十四
七七四十九　七八五十六　七九六十三　八八六十四　八九七十二　九九八十一

八　笠井　刻声

○テ割　三一天徳　逢二進二十　○三ノ刻　三一三十一　三二六十二
逢三進二十　○四ノ刻　四一二十二　四二天徳　四三七十二　逢四進十
○五ノ刻　五一倍徳二　五二倍徳四　五三倍徳八　五四倍徳八　逢五進十
○六ノ刻　六一加下四　六二三十二　六三天徳　六四六十四　六五八十二
逢六進十　○七ノ刻　七一加下三　七二加下六　七三四十二　七四五十五
七五七十二　七六八十四　逢七進十　○八ノ刻　八一加下三　八二加下四
八三加下六　八四天徳　八五六十二　八六七十四　八七八十六　逢八進十
○九ノ刻　九一加下一　九二加下二　九三加下三　九四加下四　逢九進十

世宝奏刻記
夫義用八十農工高山ヶ小志ヶ出ケ
息夏去ヶ伊ヶバ人ヶ己ヶ撫習ヶ
史教ヶ学ヶ人ヶ己ヶ根ヶ気ヶ学ヶ学ヶ逸ヶ
道ヶ学ヶ学ヶ月ヶ歩ヶ手ヶ紙ヶ学ヶ行ヶ論ヶ教ヶ己ヶ
形ヶ小ヶ己ヶ安ヶ逸ヶ逸ヶ小ヶ八ヶ異ヶ見ヶ論ヶ学ヶ己ヶ
学ヶ小ヶ学ヶ人ヶ少ヶ教ヶ学ヶ刻ヶ教ヶ小ヶ己ヶ
学ヶ学ヶ己ヶ学ヶ教ヶ学ヶ形ヶ学ヶ

昭和十六年一月十一日寄
尼野貴英氏贈

世寶塵劫記目録

九々の数の事 并八義の割声
大数の名の事
小数の名の事
四数の名の事
億の数名の事
藝数雅亶の事
きく子だての事
八義の割 并 乗加けざんの事
見一の割 并 乗加けさんの事
うけて割義の事
割てうけ義の事
亀義つりの事
米賣買の事

同相場割つけの事
俵数義三入つりの事
銭賣買の事
張りけ義月日のさ〜引の事
ひもぐさまい〜の事
竹法〜の事
米の法の事
むう〜并の法の事
斗米の事 并 斗桶の場
市ん地つりの事
知行地あるの事
万角あるの事
材木賣買はい〜の事
屋敷のふき板つりの事

男衆道具づくし

木性

格平　文八
武兵
門木
福財
百
包彦
郷弓

竹性

品郎
間助
孫次
黒麦
彦助
金角
龍墨
破吉
九八
加茂
義猶
近実
外

木性

傳長
忠吉
作爲
徳仁

万鉢目つくり始の事
あうぢひのろびの事
河菩薩の事
町つくりの事
樽つくりの事
立木のゐとつくる事
日ゐく一ぢいの事
日ゐ小男女の数つくる事
鳥さんの事
布一たんの立数糸の長さとつくる事
金弘千数を開立に〜てつくる事
百文けんといふ事
ゐく〜義〜といふ事
度義〜いろり入る事

竹性

仲重
奥丑
仁治
壱多
理利
拵
金性
宮伊
音好
慈赤
賀安
長重
丟吉
頓橋
雨虎
安又
乙也
乃友
市右
与惠
義和
水性
伊仁
伝次七
庄三
小猪
彩清
佐
惠嘉
宗衛
市十
千汲
正角
長戈
清右
彩秋
惠稜
松祥
義巳

亡里乃伊人くる三疋と糸合事
家屋敷地面坪数義利の事
織地数尺割の事
義彩入尺割の事
福押義利の事
組合買地利分義彩の事
油日くる義利の事
百万弾の人数をあ〜べて見くる事
日ゐ出の米をつくる事并一坪米を人ゆうの事
ゐでこ奥買の事
三人〜七袴二くぢり義くる事
陸奥陽小割の事
義利ゑ引事

終

備考冠婚

仁者禾和米者
食物木火土金
黒白男女多
金多糸紅子赤
衣衣舟舟多
同は月子足足
角同東北土七

九々しらべ

二二ノ四　二三ノ六　二四ノ八　二五ノ十　二六十三　二七十四
二八十六　二九十八　三三ノ九　三四十二　三五十五　三六十八
三七廿一　三八廿四　三九廿七　四四十六　四五二十　四六廿四
四七廿八　四八卅二　四九三十六　五五廿五　五六三十　五七卅五
五八四十　五九四十五　六六三十六　六七四十二　六八四十八　六九五十四
七七四十九　七八五十六　七九六十三　八八六十四　八九七十二　九九八十一

八分音　割声

○二ノ割　三二天他ス　逢二進十　○三ノ割　三一　三二　三三六十二
逢三進十　○四ノ割　四一三十二　四二天他ス　四三七十二　逢四進十
○五ノ割　五一億他二　五二倍他四　五三倍他六　五四倍他八　逢五進十
○六ノ割　六一加下四　六二三十二　六三天他ス　六四六十四　六五八十二
逢六進十　○七ノ割　七一加下三　七二加下六　七三四十二　七四
七五七十一　七六八十四　逢七進十　○八ノ割　八一加下二　八二
八三加下六　八四天他ス　八五六十二　八六七十四　八七八十六　逢八進十
○九ノ割　九一加下一　九二加下三　九三加下三　九四天他ス　逢九進十

大数の名ノ事

一十百千万億兆京
一十百千垓秭穣溝澗
一十百千正載極恒河沙
一十百千阿僧祇那由他不可思議
一十百千無量大数

小数の名ノ事

一十百千分厘毫絲忽微纖沙塵埃

田数の名ノ事

一町　但六十間四方也
一反　今ハ三百坪ニ当ル
一畝　三十歩ニ当ル

おのくみだての事

二二五二二四一一三一二二一
五十人余り内十人ハ男女共ちのこと
る十人ハ男ちのみなり女ハ
ゆくて十人ハ男ちのみなり女ハ
ちのみなりとのけ共ハ男女のけのこと
人ふわくとゆづりはとゆふこと
ちのみなり男ハ男女ちのみなり
人ハ男女ちのみなり十人ハ男女ちのみ
今ハ男女ちのみなり男女共ちのみ
ちのみなり男女ちのみなり
むせんのしてハ男女ちのみなり
のみなりちのみなり男女ちのみ
のみなりて男女ちのみなり

歩 一坪とゆふなり六尺四方

毛 長さ六尺八寸 廣さ六寸八分

一分 長さ六尺八寸 廣さ六寸八分

一厘 長さ二寸八分 廣さ二寸八分

一絲 長さ六分八厘 廣さ六分八厘

一忽 長さ六分八厘 廣さ六分八厘

粮の数の名乃事

斛 斗 升 合 勺 抄 撮 圭 粟

一斤 三百五十目 百六十目

一疋 絹二端なり

一丈 一尺十とゆふ

一尺 一寸十とゆふ

一本 木一丁

一束 一把

一匹 馬

一艘 舟

諸物の軽重の事

金 百七拾五匁

銀 同 百四拾匁

銅 同 百弐拾匁

鉛 同 九拾五匁

錫 同 六十二匁

鉄 同 七十五匁

二之段

あるひハ 米拾二万三千四百五拾六石七斗八升九合と
二つに割ハ 六万千七百廿八石三斗九升四合五勺六才

八進平 ▲二一天作九 二千

八進平 ▲二一天作九 二百八

六進三平 ▲二一天作九 二九十八

六進三平 ▲二一天作九 二三六

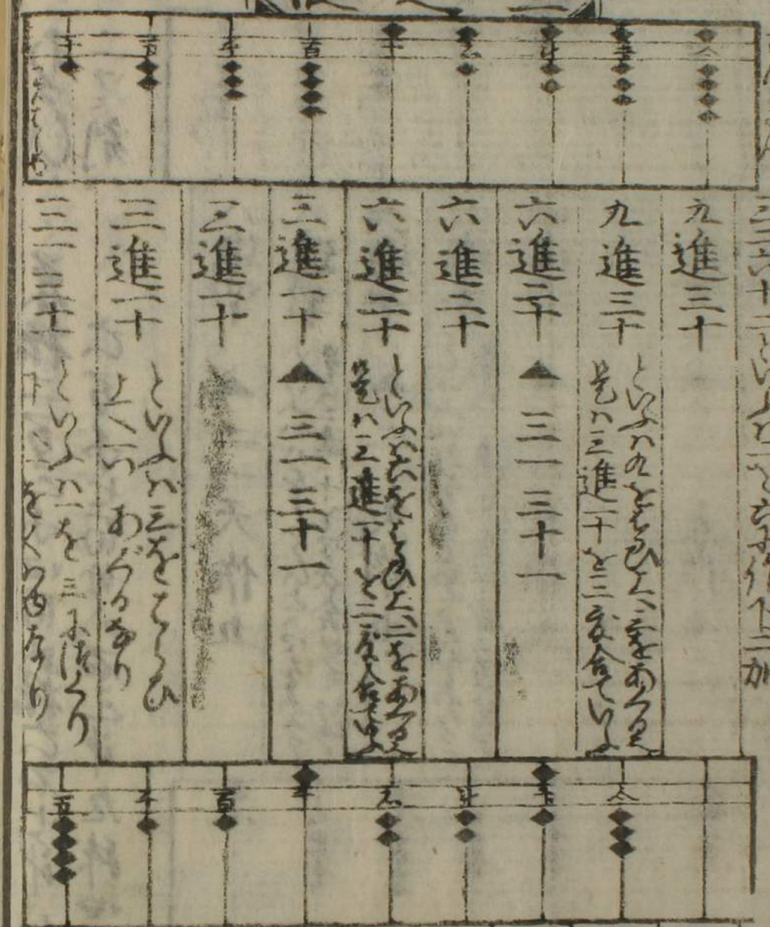
四進二平 ▲二一天作九 二八十六

四進二平 ▲二一天作九 二三四

二進一平 ▲二一天作九 二七十四

二進一平 ▲二一天作九 一二

二一天作九 二百二十二



あるひハ　米拾二万三千四百五拾四石七斗八升九合を
三つに割ハ　四百五拾四万八千六百九十二石二斗六升二合

九進三十
九進三十　九を三度かけてハ二十七なり　九を三度かけてハ二十七なり
六進二十　▲三一三十一
六進二十
六進二十　六を三度かけてハ二十一なり　六を三度かけてハ二十一なり
三進一十　▲三一三十一
三進一十
三進一十　三を三度かけてハ二十七なり　三を三度かけてハ二十七なり
三一三十一　三を三度かけてハ二十七なり

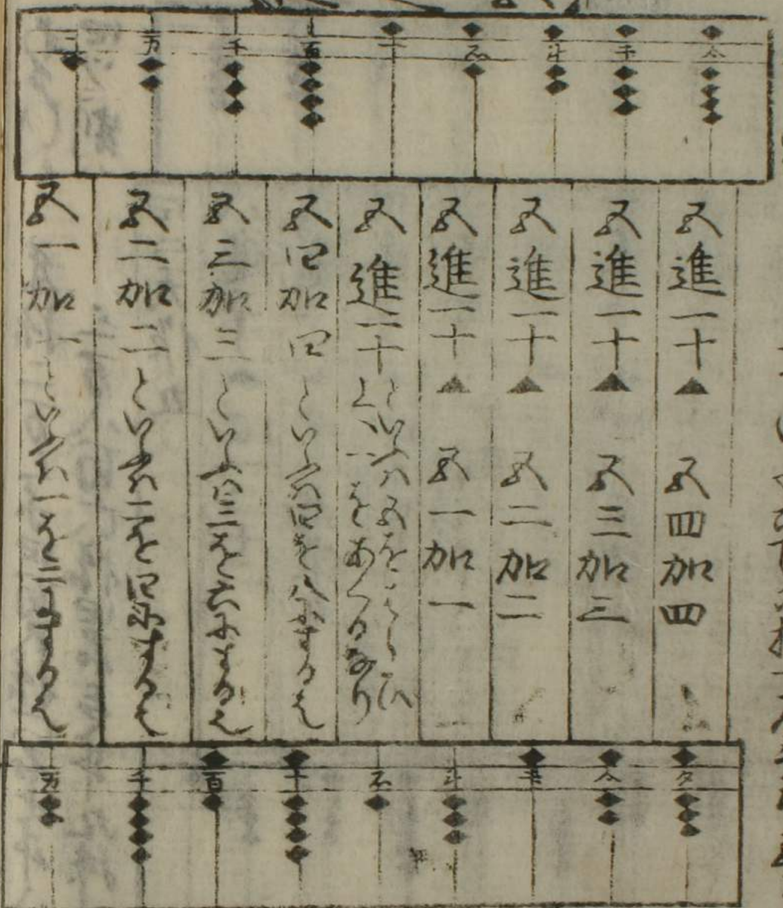
三三九　三を三度かけてハ二十七なり
三六十八　三を六度かけてハ二百十八なり
二三六　三を六度かけてハ二百十八なり
二三六　右同じ
三六十八　三を六度かけてハ二百十八なり
一三三　三を三度かけてハ二十七なり
一三三　右同じ
三四十二　三を四度かけてハ八十一なり

あるひハ　米拾二万三千四百五拾四石七斗八升九合を
四つに割ハ　二万八百六拾六石三斗九升七合二夕余

四二天作九
八進二十▲四一二十二
八進二十▲四二天作九
四進一十▲三三十二
八進二十　八を三度かけてハ五百十二なり　八を三度かけてハ五百十二なり
四進一十▲四一二十二
四進一十▲四二天作九
四三十二　四を三度かけてハ六十四なり
四進一十　四を三度かけてハ六十四なり
四一二十二　四を三度かけてハ六十四なり

四天二十　四を四度かけてハ二百五十六なり
二四八　四を四度かけてハ二百五十六なり
四七十八　四を四度かけてハ二百五十六なり
四九十六　四を四度かけてハ二百五十六なり
一四四　四を四度かけてハ二百五十六なり
四四十六　四を四度かけてハ二百五十六なり
四六十四　四を四度かけてハ二百五十六なり
四八十二　四を四度かけてハ二百五十六なり
三四十二　四を四度かけてハ二百五十六なり

又之段

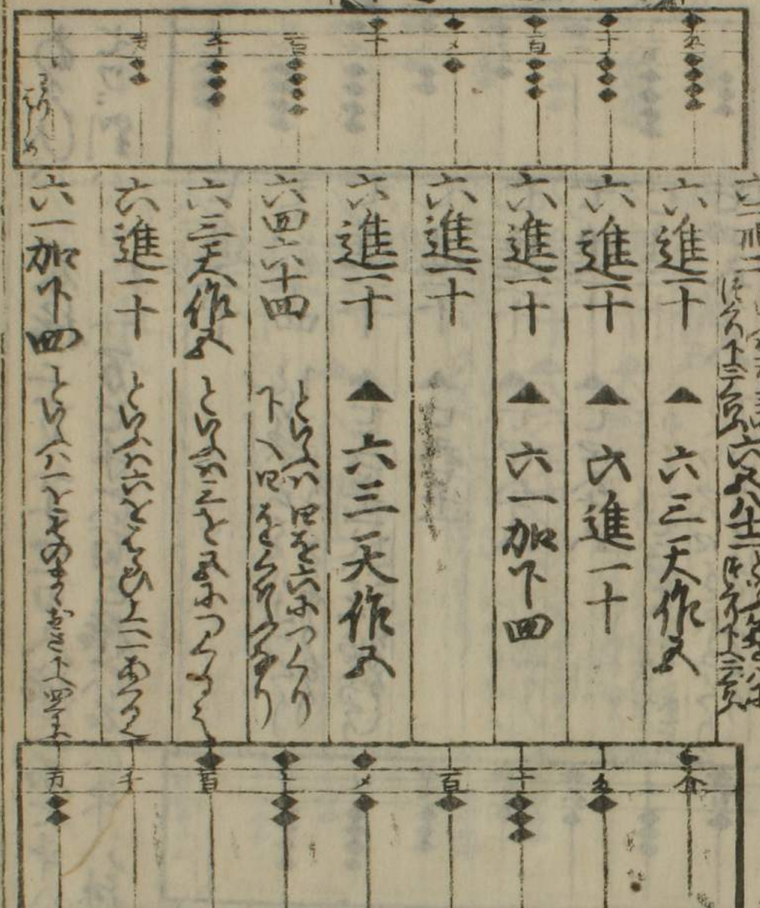


あるひハ　又ツヽ割ハ

米拾二万三千四百又拾六石七斗八升九合を
二万四千六百九拾一石三斗又市七合八夕ゝ

又進一十▲　又四加四　又八四十　といつて八を四つとるなり
又進一十▲　又三加三　又七廿又　といつて七を二つはなしてとる
又進一十▲　又二加二　又六廿又　といつて六を二つはなしてとる
又進一十▲　又一加一　又三十又　といつて三を一つはなしてとる
又進一十▲　又八加八　又一又　といつて一を一つはなしてとる
又四加四　といつて四を八つとるなり　又九四十又　といつて九を四つはなしてとる
又三加三　といつて三を六つとるなり　又六三十　といつて六を三つはなしてとる
又二加二　といつて二を四つとるなり　四又二十　といつて四を二つはなしてとる
又一加一　といつて一を二つとるなり　二又十　といつて二を一つはなしてとる

六之段



あるひハ　六ツヽ割ハ

米拾二万三千四百又拾六石七斗八升九合を
二万又百七拾六石一斗三升一合又夕ゝ

六進一十▲　六三天作又　六三二十六　といつて六を三つとるなり
六進一十▲　六進一十　六二十二　といつて二を六つとるなり
六進一十▲　六一加下四　三六十八　といつて一を六つとるなり
六進一十▲　六三天作又　一六六　といつて一を六つとるなり
六進一十▲　六四六十四　六五六廿四　といつて五を六つはなしてとる
六三天作又　六三二十六　六七四十二　といつて七を六つはなしてとる
六進一十▲　六二十二　又六二十　といつて二を六つとるなり
六一加下四　六一六十六　三六十二　といつて三を一つはなしてとる

七之段

あるひは七つに割は

米拾二万三千四百又拾六石七斗八升九合を
一万七千六百三拾六石六斗八升四合九夕なり

七進一十
七六八十四　十より六を八ふつくりのこる
七進一十　▲七三四十二　十より三を二ふつくりのこる
七進一十　▲七又七十一
七進一十　▲七四又十八
七進一十　▲七四又十八
七進一十　▲七四又十八
七進一十　▲七四又十八
七四又十八　十より四を八ふつくりのこる
七又七十一　十より八を一ふつくりのこる
七一加十二　十より二を一ふつくりのこる

七九六十三　十より九と六と
四七　廿八　十より七を二ふ
七八又十六　十より八を六ふ
六七四十二　十より七を四ふ
六七四十二　右同
三七廿一　十より七を三ふ
六七四十二　十より七を四ふ
七七四十九　十より七を四ふ
七　七　十より七を七ふ

八之段

あるひは八つに割は

米拾二万三千四百又拾六石七斗八升九合を
一万又千四百三拾二石九斗八合二夕ずつ入れる

八四又作八
八進一十　▲八又四十二　十より八を四ふ
八進一十　▲八六八十四　十より六を八ふ
八七八十六　十より七を八ふ
八進一十
八進一十　▲八一加十二
八進一十　十より八を一ふ
八三加十六　十より三を六ふ
八四又作八　十より四を八ふ
八一加十二　十より一を二ふ

又八四十　十より四を八ふ
六八四十八　十より六を八ふ
八八六十四　十より八を六ふ
八九七十二　十より九を七ふ
二八十六　十より二を六ふ
三八廿四　十より三を四ふ
四八廿二　十より四を二ふ
又八四十　十より四を八ふ
一八八　十より一を八ふ

九之陰

九進一十
九進一十
九進一十 ▲九一加下一
九進一十 ▲九二加下三
九六加下六
九進一十
九六加下六
九三加下三
九一加下一

一九九
二九十八
四九廿八
七九六十三
一九九
七九六十三
三九廿七
一九九

見一之陰

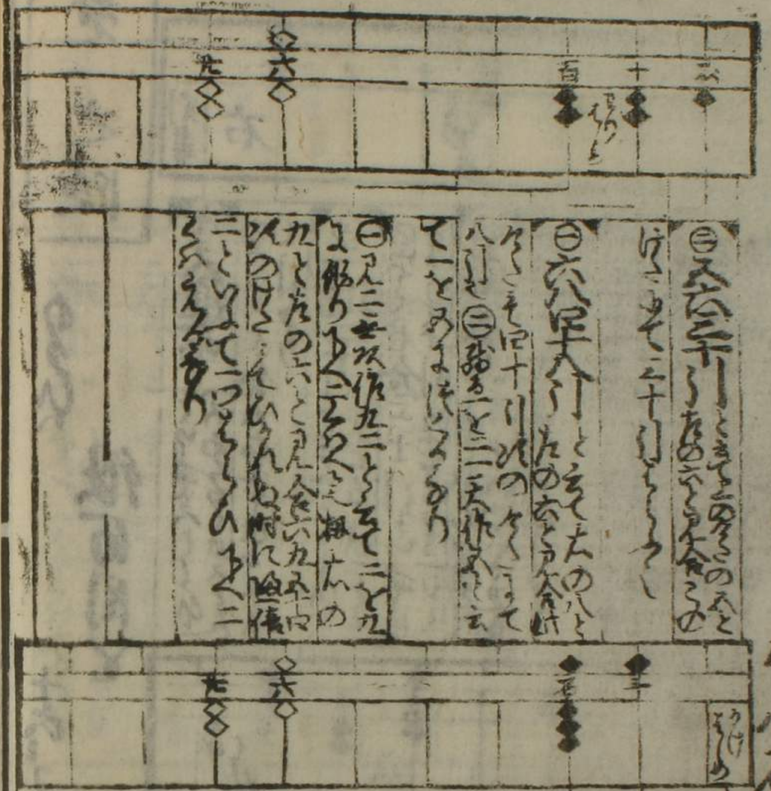
九進一十
九進一十
九進一十 ▲九一加下一
九進一十 ▲九二加下三
九六加下六
九進一十
九六加下六
九三加下三
九一加下一

一九九
二九十八
四九廿八
七九六十三
一九九
七九六十三
三九廿七
一九九

右
左

見二之陌

つぎに　第弐百二拾壱石を
二十六ゝ八八石八斗と云



㊀八六三十八ゝとえて左の八と
けさ引そ二十八ゝとゝ

㊁六六三十八ゝとえて左の八と
ゝ左の六と八合六八
ゝ左の十八ゝ㊁ゆえ二と二天作九ゝ云
て一とみよ九ゝ

㊂八二十六作九二ゝとえて二と九
九作九二ゝとえ左の六と九合六九
九と左の六と八合六九九
左の八と八合六九九
二ゝとゝ

八六三十八
二六十
六八三十八
二八十六

見三之陌

つぎに　第壱百拾貫弐百文と
六百文と云ゝ

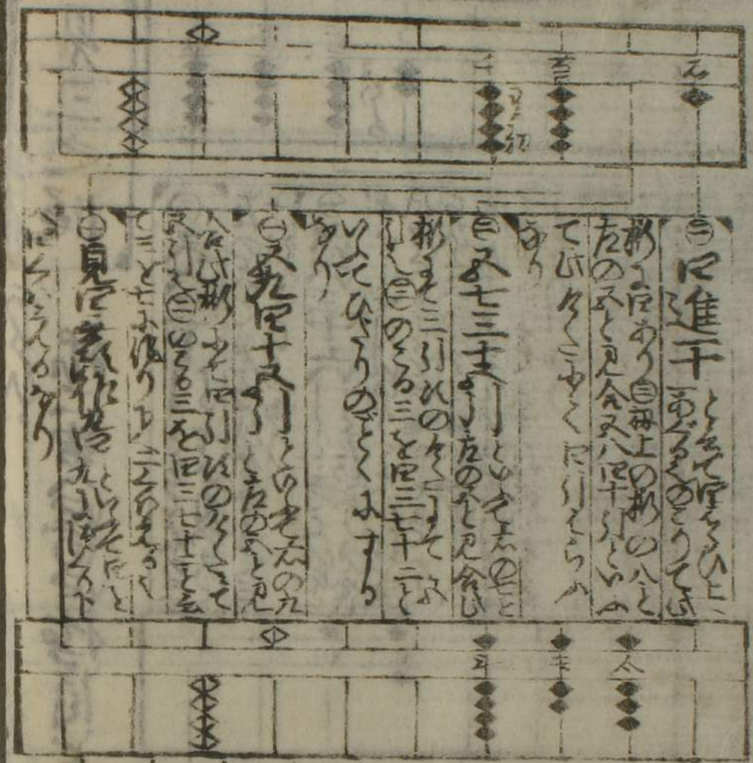
㊀八六三十八ゝとえて左の二
左の六と八合六八
十八ゝとゝ

㊁六六三十六ゝとえて左の六と
六六六合六六
ゝとえて左の六と八合
六六ゝ㊁六六ゝを六進二と云て六
ゝ㊁六六ゝを六進二と云て六
ゝ㊁六六ゝを六進二と云て六

見江之図

かるひい

米江子江百一石を　江十六ふ九ふ　九斗七升八合ふ

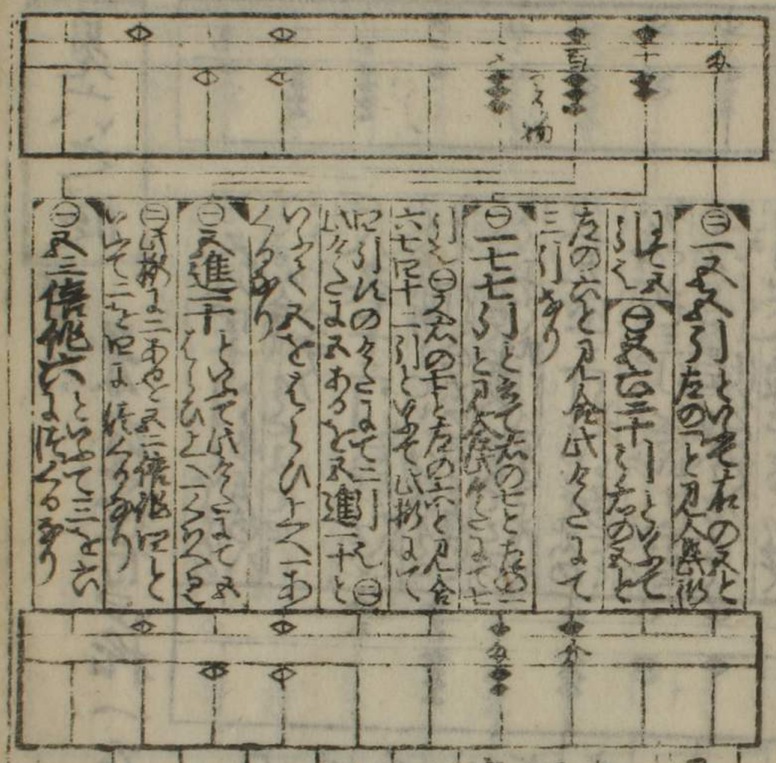


㊀江進二十　江百十六ふ九ふ
㊁江八百十六ふ九ふ
㊂又七三十又引　左の江と見合し
㊃又七三十又引　左の江と見合し
㊄江七三十又引　左の江と見合し
㊅江七三十又引　左の江と見合し
㊆江七三十又引　左の江と見合し
㊇江七三十又引　左の江と見合し
㊈江七三十又引　左の江と見合し
㊉江七三十又引　左の江と見合し
㊊江七三十又引　左の江と見合し
㊋江七三十又引　左の江と見合し
㊌江七三十又引　左の江と見合し
㊍江七三十又引　左の江と見合し
㊎江七三十又引　左の江と見合し
㊏江七三十又引　左の江と見合し
㊐江七三十又引　左の江と見合し
㊑江七三十又引　左の江と見合し
㊒江七三十又引　左の江と見合し
㊓江七三十又引　左の江と見合し
㊔江七三十又引　左の江と見合し
㊕江七三十又引　左の江と見合し
㊖江七三十又引　左の江と見合し
㊗江七三十又引　左の江と見合し
㊘江七三十又引　左の江と見合し
㊙江七三十又引　左の江と見合し
㊚江七三十又引　左の江と見合し
㊛江七三十又引　左の江と見合し
㊜江七三十又引　左の江と見合し
㊝江七三十又引　左の江と見合し
㊞江七三十又引　左の江と見合し
㊟江七三十又引　左の江と見合し
㊠江七三十又引　左の江と見合し
㊡江七三十又引　左の江と見合し
㊢江七三十又引　左の江と見合し
㊣江七三十又引　左の江と見合し
㊤江七三十又引　左の江と見合し
㊥江七三十又引　左の江と見合し
㊦江七三十又引　左の江と見合し
㊧江七三十又引　左の江と見合し
㊨江七三十又引　左の江と見合し
㊩江七三十又引　左の江と見合し
㊪江七三十又引　左の江と見合し
㊫江七三十又引　左の江と見合し
㊬江七三十又引　左の江と見合し
㊭江七三十又引　左の江と見合し
㊮江七三十又引　左の江と見合し
㊯江七三十又引　左の江と見合し
㊰江七三十又引　左の江と見合し
㊱江七三十又引　左の江と見合し
㊲江七三十又引　左の江と見合し
㊳江七三十又引　左の江と見合し
㊴江七三十又引　左の江と見合し
㊵江七三十又引　左の江と見合し
㊶江七三十又引　左の江と見合し
㊷江七三十又引　左の江と見合し
㊸江七三十又引　左の江と見合し
㊹江七三十又引　左の江と見合し
㊺江七三十又引　左の江と見合し
㊻江七三十又引　左の江と見合し
㊼江七三十又引　左の江と見合し
㊽江七三十又引　左の江と見合し
㊾江七三十又引　左の江と見合し
㊿江七三十又引　左の江と見合し

見江之図

かるひい

米江子江百一石を　江百十六ふ九ふ　七斗七升八合ふ



㊀江進二十　江百十六ふ九ふ
㊁江七三十又引　左の江と見合し
㊂江七三十又引　左の江と見合し
㊃江七三十又引　左の江と見合し
㊄江七三十又引　左の江と見合し
㊅江七三十又引　左の江と見合し
㊆江七三十又引　左の江と見合し
㊇江七三十又引　左の江と見合し
㊈江七三十又引　左の江と見合し
㊉江七三十又引　左の江と見合し
㊊江七三十又引　左の江と見合し
㊋江七三十又引　左の江と見合し
㊌江七三十又引　左の江と見合し
㊍江七三十又引　左の江と見合し
㊎江七三十又引　左の江と見合し
㊏江七三十又引　左の江と見合し
㊐江七三十又引　左の江と見合し
㊑江七三十又引　左の江と見合し
㊒江七三十又引　左の江と見合し
㊓江七三十又引　左の江と見合し
㊔江七三十又引　左の江と見合し
㊕江七三十又引　左の江と見合し
㊖江七三十又引　左の江と見合し
㊗江七三十又引　左の江と見合し
㊘江七三十又引　左の江と見合し
㊙江七三十又引　左の江と見合し
㊚江七三十又引　左の江と見合し
㊛江七三十又引　左の江と見合し
㊜江七三十又引　左の江と見合し
㊝江七三十又引　左の江と見合し
㊞江七三十又引　左の江と見合し
㊟江七三十又引　左の江と見合し
㊠江七三十又引　左の江と見合し
㊡江七三十又引　左の江と見合し
㊢江七三十又引　左の江と見合し
㊣江七三十又引　左の江と見合し
㊤江七三十又引　左の江と見合し
㊥江七三十又引　左の江と見合し
㊦江七三十又引　左の江と見合し
㊧江七三十又引　左の江と見合し
㊨江七三十又引　左の江と見合し
㊩江七三十又引　左の江と見合し
㊪江七三十又引　左の江と見合し
㊫江七三十又引　左の江と見合し
㊬江七三十又引　左の江と見合し
㊭江七三十又引　左の江と見合し
㊮江七三十又引　左の江と見合し
㊯江七三十又引　左の江と見合し
㊰江七三十又引　左の江と見合し
㊱江七三十又引　左の江と見合し
㊲江七三十又引　左の江と見合し
㊳江七三十又引　左の江と見合し
㊴江七三十又引　左の江と見合し
㊵江七三十又引　左の江と見合し
㊶江七三十又引　左の江と見合し
㊷江七三十又引　左の江と見合し
㊸江七三十又引　左の江と見合し
㊹江七三十又引　左の江と見合し
㊺江七三十又引　左の江と見合し
㊻江七三十又引　左の江と見合し
㊼江七三十又引　左の江と見合し
㊽江七三十又引　左の江と見合し
㊾江七三十又引　左の江と見合し
㊿江七三十又引　左の江と見合し

見六之段

五八四十二　五七三十五　五六三十　八九七十二　七九六十三　六九五十四

五八四十　五七三十五　五六三十　八九七十二　七九六十三　六九五十四

六百七十八ふくれ　九石五斗と

見七之段

四五二十　三五十五　五七三十五　四九三十六　三九二十七　七九六十三

七百二十七ふくれ　九五五分と

見八之陸

第八百拾石九斗八升と　八千六百九十八文九厘四毛余

八進二十　㊂太の三と九の六と見合三六十八引て残の六を下に八引て残の六を下に八を下に八を下に八

かけてまりさんかなる事

九石 三十 八百 二千

八分 七厘 十 二百 一貫

天八四十一 天七百五 天六三十 天五百五

米五千八百七拾六石と二拾五石を掛るときは八百七拾七拾八石と掛るときは下の五ケタをもつて掛れば

二千八百四十九石と

四升 九十 八百 三百

四七百八 四八百二 四九百六

米五千八百七拾六石を二拾五石掛るときは下の五ケタをもつて掛れば

三百九拾六石と

八合 七十 二十 二百 一貫

六四十八 七八十六 八六十四 九七十二

米五千八百七拾六石と百五十石掛るときは下の八ケタを七拾九石八合なり

二九十八 二八十六 二七十四 二六十二

米二百八十石と二百五十石掛るときは下の八ケタを七拾九石八合なり

まりてかけさんかなる事

八十 八百 五貫

分 百 十

四進一十 四三百十六 四二十二 四三五六

五石 九百 三千

八四百八 八進一十 八七八十六 八三百十六

米二拾五石二千四百八十石掛るときは下の八ケタを七拾九石八合なり

まりくわ 天二百五十石掛るときは

まりくわ 三千九百八石なり

○四月小稼ぎ〻父母おてをとと十二月うじおやまを十四月に子ぬ稼ぎ〻二月ねつまると又子と十二月ていうむゆへ小おやまに九十八月小稼ぎ〻くれ〻くに月小一月づくまるとまるとまるとまるとひとまる月〻小十二月中之分合二百七十俵八月二百八十七万四千四百二月なり

十二月でうむ月十二月申の行逆小天ヒニ月

れきさんつりの事

正月 生魚子 十二文
銀こまか 十匁
四月 同子百十六文
同 四子八百二文

二月 同 八十四文
同 九十八文
五月 同 二万八千八百十二文
同 三万三千六百十四文

三月 同 八百八十八文
同 六百八十六文
六月 同 九千九百十八万二千八百十六文
同 千百五十二万五千五百金二文

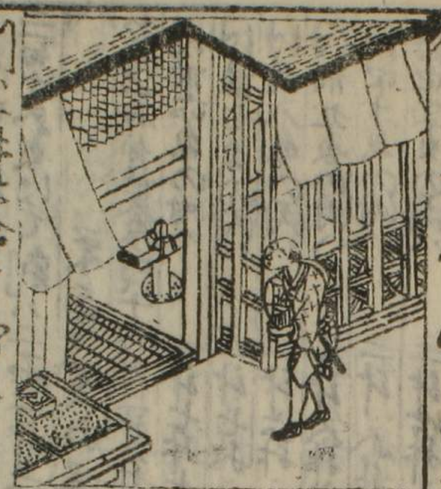
七月 同 二百一万五千三百八十八文
同 百六十五万七千五百金二十六文
八月 同 九百十八万二千八百十四文

九月 同 六千九百七十五万三千
同 八千金七十万七十三百十六文

十月 同 二百五十三億八千二百八十四万
同 八億六千四百九十五万四百九十八文
十一月 同 二百五十七億二千七百九十二万金九百十六文
同 二百五十六億千二百五十七万五千四百金二文
十二月 同 批三億八千九百七十万二千九百八十八文
同 批九億五千四百八十八万二千五百八十二文

嵐二百七十六億八千二百五十七万四千四百金二文わり出ず一日の子八 米二十二百八十四万五百二百八十七石二斗一升四五文石の子おく尾ふくの付くくてうくくとうとうて八重をるるくくの附の行てくく
そくくこと 七十八万八千六百七十七里十二町八すとくく 但一里八三十 六町一町八六十
同一同八六天すみて嵐の出すいてすり

米賣買の事



米三斗六升わり銀七匁三本入合賣附銀
行ことこと出ずくくたふ三斗六升より金一升六合
ゆく割バ銀出ずこと出ずくくり
銀出ずこと一斗六合ゆ賣買の附八一石の
附米銀ことと金出ずこと出ずくくり
米一石の付六十二匁入合の附銀一匁ふ行ことこと云
米一斗六合くくたふ米一石と金お協六十二匁入合そ
米二匁三百石代銀百四十三貫七百五十匁入合ことこと云
米二匁三百石代銀百四十三貫七百五十匁入合ことこと出ずくくり

六十二文又ハ六十と云なり

米二升二合、俵十六文にして代二升二合、俵八代行なはれるとの事五文に
成こと有ハ代二升二合と云ことハ五文と二升二合ハ割八三二文と成る也三十六文となりしも
五文ハ三十六文なり

銀代百八十文九分にて一石に付六十目ゞの米と一石に付八十目ゞの大豆と一石に付
七十文ゞの小豆と右の三ツを買ハ時ハ五ツの目し升数ハ如何と云米二
石二升六合代銀百五十六文六分と大豆二石二升六合代銀百八十文八分と小豆二石
二百十文にて割ハ二石二升六合ハ代でと云ることなり

米賣買お場まりつもの事

お場一石代五文時ハ二升八合七夕一才　同五文時ハ二升八合六夕四才
同五六文の時ハ　二升七合七夕七才　同五六文の時ハ　二升七合九夕七才
同五七文の時ハ　二升七合　二夕七才　同五七文の時ハ　二升七合六夕六才
同五八文の時ハ　二升六合一夕六才　同五八文の時ハ　二升六合七夕四才
同五九文の時ハ　二升六合九夕六才　同五九文の時ハ　二升六合三夕七才
同六十文の時ハ　二升六合　同六十文の時ハ　二升六合一夕七才
同六十一文の時ハ　二升五合九夕　同六十一文の時ハ　二升五合六夕一才
同六十二文の時ハ　二升五合七夕　同六十二文の時ハ　二升五合二夕一才
同六十三文の時ハ　二升五合五夕　同六十三文の時ハ　二升五合九夕六才
同六十四文の時ハ　二升五合三夕　同六十四文の時ハ　二升五合六夕二才
同六十五文の時ハ　二升五合　同六十五文の時ハ　二升五合三夕九才
同六十六文の時ハ　二升四合九夕　同六十六文の時ハ　二升四合六夕六才
同六十七文の時ハ　二升四合七夕　同六十七文の時ハ　二升四合三夕六才
同六十八文の時ハ　二升四合　同六十八文の時ハ　二升四合一夕六才
同六十九文の時ハ　二升四合九夕　同六十九文の時ハ　二升四合九夕一才
同七十文の時ハ　二升四合七夕　同七十文の時ハ　二升四合六夕六才
同七十一文の時ハ　二升四合五夕　同七十一文の時ハ　二升四合三夕六才
同七十二文の時ハ　二升四合　同七十二文の時ハ　二升四合一夕六才
同七十三文の時ハ　二升三合九夕　同七十三文の時ハ　二升三合九夕一才
同七十四文の時ハ　二升三合七夕　同七十四文の時ハ　二升三合六夕六才
同七十五文の時ハ　二升三合五夕　同七十五文の時ハ　二升三合三夕六才
同七十六文の時ハ　二升三合　同七十六文の時ハ　二升三合一夕六才
同七十七文の時ハ　二升二合九夕　同七十七文の時ハ　二升二合九夕一才
同七十八文の時ハ　二升二合七夕　同七十八文の時ハ　二升二合六夕六才
同七十九文の時ハ　二升二合五夕　同七十九文の時ハ　二升二合三夕六才
同八十文の時ハ　二升二合　同八十文の時ハ　二升二合一夕六才
同八十一文の時ハ　二升一合九夕　同八十一文の時ハ　二升一合九夕一才
同八十二文の時ハ　二升一合七夕　同八十二文の時ハ　二升一合六夕六才
同八十三文の時ハ　二升一合五夕　同八十三文の時ハ　二升一合三夕六才
同八十四文の時ハ　二升一合　同八十四文の時ハ　二升一合一夕六才
同八十五文の時ハ　二升一合九夕　同八十五文の時ハ　二升一合九夕一才
同八十六文の時ハ　二升一合七夕　同八十六文の時ハ　二升一合六夕六才
同八十七文の時ハ　二升一合五夕　同八十七文の時ハ　二升一合三夕六才
同八十八文の時ハ　二升一合　同八十八文の時ハ　二升一合一夕六才
同八十九文の時ハ　二升九合九夕　同八十九文の時ハ　二升九合九夕一才
同九十文の時ハ　二升九合七夕　同九十文の時ハ　二升九合六夕六才
同九十一文の時ハ　二升九合五夕　同九十一文の時ハ　二升九合三夕六才
同九十二文の時ハ　二升九合　同九十二文の時ハ　二升九合一夕六才
同九十三文の時ハ　二升八合九夕　同九十三文の時ハ　二升八合九夕一才
同九十四文の時ハ　二升八合七夕　同九十四文の時ハ　二升八合六夕六才
同九十五文の時ハ　二升八合五夕　同九十五文の時ハ　二升八合三夕六才
同九十六文の時ハ　二升八合　同九十六文の時ハ　二升八合一夕六才
同九十七文の時ハ　二升七合九夕　同九十七文の時ハ　二升七合九夕一才
同九十八文の時ハ　二升七合七夕　同九十八文の時ハ　二升七合六夕六才
同九十九文の時ハ　二升七合五夕　同九十九文の時ハ　二升七合三夕六才
同百文の時ハ　二升七合　同百文の時ハ　二升七合一夕六才
同百一文の時ハ　二升六合九夕　同百一文の時ハ　二升六合九夕一才
同百二文の時ハ　二升六合七夕　同百二文の時ハ　二升六合六夕六才
同百三文の時ハ　二升六合五夕　同百三文の時ハ　二升六合三夕六才
同百四文の時ハ　二升六合　同百四文の時ハ　二升六合一夕六才
同百五文の時ハ　二升五合九夕　同百五文の時ハ　二升五合九夕一才
同百六文の時ハ　二升五合七夕　同百六文の時ハ　二升五合六夕六才
同百七文の時ハ　二升五合五夕　同百七文の時ハ　二升五合三夕六才
同百八文の時ハ　二升五合　同百八文の時ハ　二升五合一夕六才
同百九文の時ハ　二升四合九夕　同百九文の時ハ　二升四合九夕一才

俵物義ハ入つもり乃事

代銀たとへハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代二間
よりこの間ハ代銀ハ代百五十文俵入ハ代二間ハ代銀ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代
ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代百五文俵入ハ代百五十文俵入ハ代

銭賣買の事

銭壱貫文に付銀十文宛の割を以て銀行致す
六十貫文ふれるゝと云右ふ九十六文と歩十文宛の割へ
六十貫文と云こと

同六貫八百文ふれるゝ銭壱貫文に付十匁宛の割を以て銀行
代銀行致すと銀百十文宛六ヶ所ニつゝ右の通八百文
と歩たるゆへ右の通銀ふれ銭ふれるゝ
百十文宛六ヶ所と云こと

銀二百匁に付銭壱貫文に付十匁宛の割を以て銀行
銀ふれ銭行致すと銀壱匁宛銭二百一
文宛六ヶ所と右ふ歩十七文宛の割へ銭十二貫文百四十八文と
なる此文千文ハ引の二文用引ケバ十二貫文百四十八文となる

銭ふけ算用の事

銭壱貫七百七十文を二十文人ふけるゝ時ハ一人宛何程
宛分と云こと右ふ壱貫七百七十文と歩二十文宛
此六十文宛ふけるゝ九六と歩れバ百六十二文
武八遠中十七人宛二人おまの用ハ八文宛出る時十ヶ月ふ銭行致す
右ふ百六十二文と歩十七と歩れバ百七十六文と歩

ひくゝ俵ハ目の事

ひくゝ二百俵ひゝ時一俵ニ付ハ文人ふ宛
ふれて壱時ふ一俵ハ壱文宛ふれて
中ハ二百俵のゝくれハ文ふたゝめ俵ハ
入てゝ俵ハ
ふれ俵ハ一文人宛三分宛ふれと云こと
これ有て右の文方今六十七坪一分三厘六毛
ひくゝ宛人ふすゝ二百俵ふれと文人ふ
文人ふれて百六十二俵ふれる
たゝふ歩ふれて又二百俵と
三ヶ所ふれて
文人ふれ俵ふすゝの時ハ
文人ふれの時ハ
文人ふれの四三ふすゝの時ハ

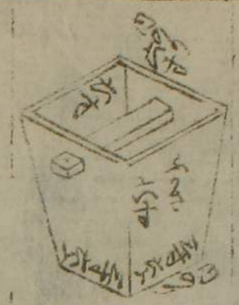
二ヶ所ふれ三分宛ふれ毛ふすゝ
一割八分一厘三毛不足
一割三分一厘六毛不足

八分ハ重九毛　不足く
ロ分一重一毛　不足く

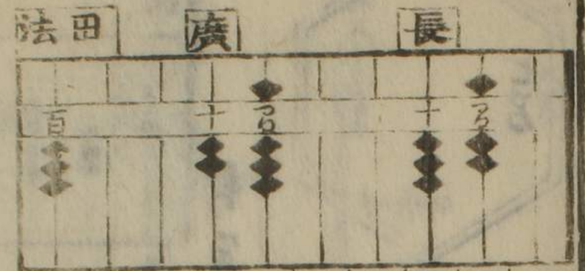
竹まきの法

竹一束ニ付ふ買ロ一時二人の手ハ行ると代二付ふ買ロ一時二人の手ハ行ると代二付ふ買ロ一時二人の手ハ行ると代二

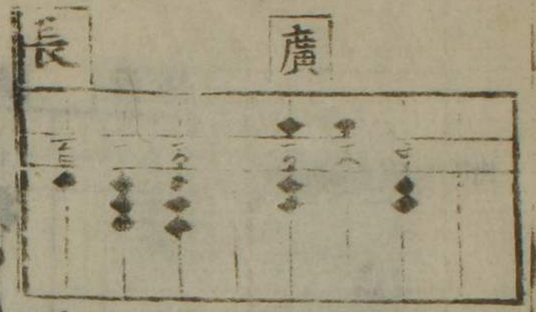
升とは六合なり此六一合升を組み附ふ一升より一分四方の坪六百二十八坪
坪を附ふ六一合より八六子二百五十坪なり
なるゆえと開方とすれば一合升の廣さ二寸五分二厘と六八一寸一分六厘と成なり

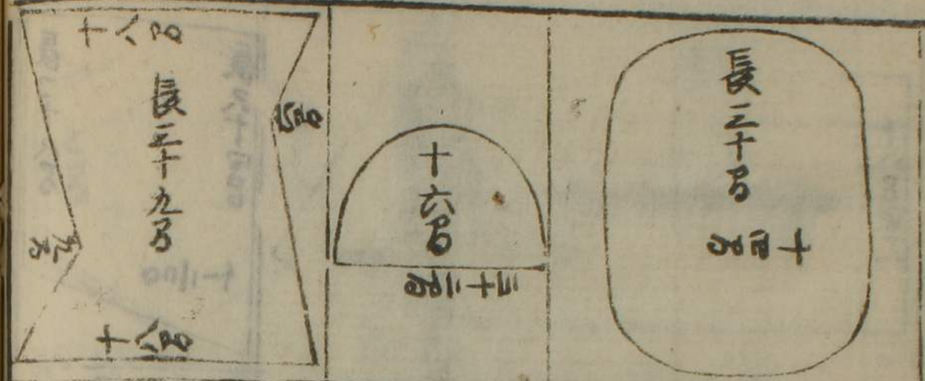


法は六寸、そこ二寸六分と成ゆえ
八合より成ゆえ六寸六分と成ゆえ
八二成ゆえと今升の法は八二成ゆえ
なるし又十五寸六分八厘
けん地はりのの事



けん
六八角
二七 百四十 三八二百四十
二三 六百 千 三一 三十一
三十一
六
卅 三進一十
法は六寸八厘ひろさ廿八ゆえ
坪と成ゆえ田法三百坪とりの
歩十六歩となるべし
長さ百三十三間


長
廣



法は長五十五の内と十六の引八拾一六の内と十九の引八拾一
かければ二百五十五坪と成る是を別に置て
たたみ敷かけ合と成る是と右の二百五十五坪と成る
又十六坪八分四厘と成る是と右の二百五十五坪より
百七十八坪八分四厘と成る是を一反と成る
一反二畝十八歩八分四厘と知る

法は長二十五なる方に十六なる方とかければ四百十二坪
なる是に参拾七九と掛て五百四十四坪八分八厘と成る是と
四隅とをかけてこれを合べ　一反二畝十四歩四厘八毛
知る

法は此九坪八厘と掛て百四拾四坪と成る是と右に別に
置て六百の内と九坪の内とかけ合て十六坪なる是と二ツ
を合かけ合べし七百九坪と成る是を此九坪に掛て五百八十二坪
すなわち是と右の四隅と引て百九坪すなわち
四隅を合べ一反二畝十九歩なり

二万四千七百十石四斗ある時代内夫米幾ばくぞ
七十二石八斗と答ル一石八本と答ル
右二万四千七百十九石四斗とあるべ
夫米千二百七十二石八斗ある時代
石なり右千二百七十二石八斗を
口米四百八十七石六斗ある時代
八合八斗右なり答ル
口米夫米ともに千八百五十石ある時代
夫米幾ばくぞ
二千八百八十石と答ル
八本宛なり

口米支米ごとに八百五石に升を時代門支米はかりハ何程と問
支米千三百七十二石八升こゝに八百五石に升に六年とのべれバ一ト九八三石こ
なり米と八年とりのべるとだ支米とあるべ
年貢米八石六斗七升おさめ多時右の門一石ゞ分口米二升ツゝ引て納米
何程と問 納米八石六斗こゝに八石ゞ米二升ツゝ引ゝ
ゝ米八石ゞ米二升ゝ引ゝ米ゝ一石二升ゝ
銀六百七十文多年貢の方へ納る時一石ゞ分五文ツゝの算用ありて
口米引て何程とゝ 納五石ゞ米二升ゝ分八ツゝ
ゝ米ゝ一石ゞ米二升ゝ分八ツゝ
右の銀六百七十文多とゝ

桂木うゑとりひまつゝ叶事

三すみ角の二乃末ハ百六十ゞ米と四すみ角の
二乃末ハ百ゞ米と四すみ角何程とゝ
四すみ角二百廿文ゞ米と云先三すみと左右ゞ
ゝ米ゝ
ゝ米ゝ
ゝ米ゝ

八すみ角の二乃末七十ゞ米時八すみ角の二乃末と四すみ角の二乃末と
ゝ 八すみ角 廿六ゞ米 四すみ角一ゞ米と云先八すみと左右ゞ
三乃ゞ
とたゞ
ゝ
ゝ
ゝ

六寸角の三乃本と一ゝ寸角の時は六寸角長八寸八分の時は
成程の積となる 代元九寸七分ゆえ七分ゆえ
二二七ゆえ六寸と成ると二乃の長一丈二尺とのべてまかり出る

九本 長一丈三尺 [illegible]

長一丈二寸七分 となり

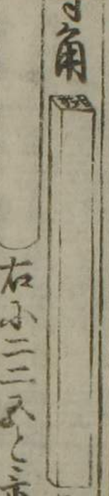
ゆえ一ゝ寸角長一丈二寸七分となるなり

六寸角 長一丈二尺

積の積ゆえ 長一丈六尺 寸法ゆえ

七寸九本 長二乃

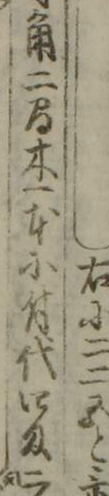
角になる



六寸角

右ゆえ二二ゆえと並べて六寸角二乃本一ゝ寸角代元九寸七分ゆえ

ひゝ



六寸角二乃本の代元九寸七分のひゝ角

代元九寸七分ゆえ二二ゆえ

とかるれば一七と成るに二乃とかるれば又一七と成るに二乃とかるれば
又九寸七分と並べれば三六と成るに二乃とかるなり

長一丈二寸七分となる

六寸角の長一丈六尺寸法ゆえ

長一丈六尺

六寸角

長一丈二尺

六の六寸角は長一丈三尺と寸法ゆえ別

ゆえ長四乃ゆえ二乃ゆえ

九本二二ゆえと並べて寸法ゆえ

九本ゆえ

長二乃

九ゆえ二二ゆえと並べて寸法ゆえ

代元九寸七分ゆえ八寸八分ゆえ二尺

一寸八分ゆえ二乃本一ゝ寸ゆえ代元九寸七分ゆえ

ゆえ二二ゆえと成るゆえ別ゆえ

六の六寸角の代元九寸七分ゆえ

竹一本とゝ八ゆえり一尺八寸あり 間一寸ゝくの時八竹のまり

一尺八寸なるとの間一寸不足の時八 一割二分一厘不足之

一尺八寸なるの間二寸不足の時八 二割六分ゆえ不足之

一尺八寸なるの間三寸不足の時八 三割二分 不足之

又ゝ尺八寸ゆえ一寸ゆえ八竹のまり

一尺九寸なるゆえ八一尺八寸ゆえ 一割一分二厘二毛不足

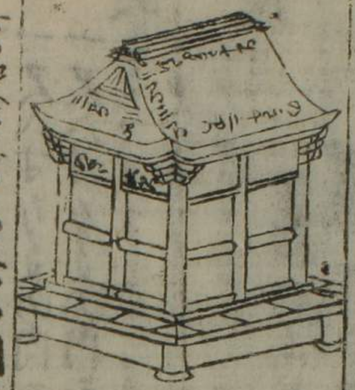
二尺ゆえ八一尺八寸ゆえ 二割三分二厘毛不足之

竹割りのまき板法

竹割りやうの事

あのまき八寸ひろさ一尺二寸なりまき
七尺あるゆえ八寸と成る板ゆえ
ほ一丁あつさ竹のまりこれ成ゆえ
一丁まつきゆえ九百二十枚ゆえ
但ゝ寸にあつさ一寸と十二
枚ゆえ成るゆえ一丁と

みつれたるつ



坪数をもとめる事

坪数をもとめるには坪のたてとよこを板の数にかけてのべ坪にする

又分あり　むさ　そこ　二すあり　こは五合一すの分

板のたて　そこ　一坪の法は二尺五寸をもって板数六万合八千八枚八分合りの

そこと　板の　別に　亜　又　板の　こすこ　ふさあり

一寸五分　とかくこれ　ふかさ　右の　二七下　と　割八

六万　合　八十八枚八分入ところ

坪数あらかじめ

十二万　加　廿三万　九　二四　割八十二万　ますこ　九万　ふかさ　二四　割八万　ますこ　九　ふかさ

あつさ　四　坪　九　又　のさまわり　此八万　坪　九　又　角　のかりとる　二万　ふかさ　二坪　二尺　と

のこのあつさ　角のかりとる　二万　ふかさ　二坪　二尺　と

のこのあつさ　角のかりとる　二万　ふかさ　二坪　二尺　と

坪のさまわり　

ほゞ六尺寸とたかくしてとかくれば二百三十六寸こゝ表もに二百八十寸
二七百六十三寸あまりそと今井のほゞ六尺とたかくして剣八今井に十二尺こゝ井
六井二合七夕八とかくれば又吉井にてほゞかくこれ右の二七百六十三寸に
十六をかくれば吉井

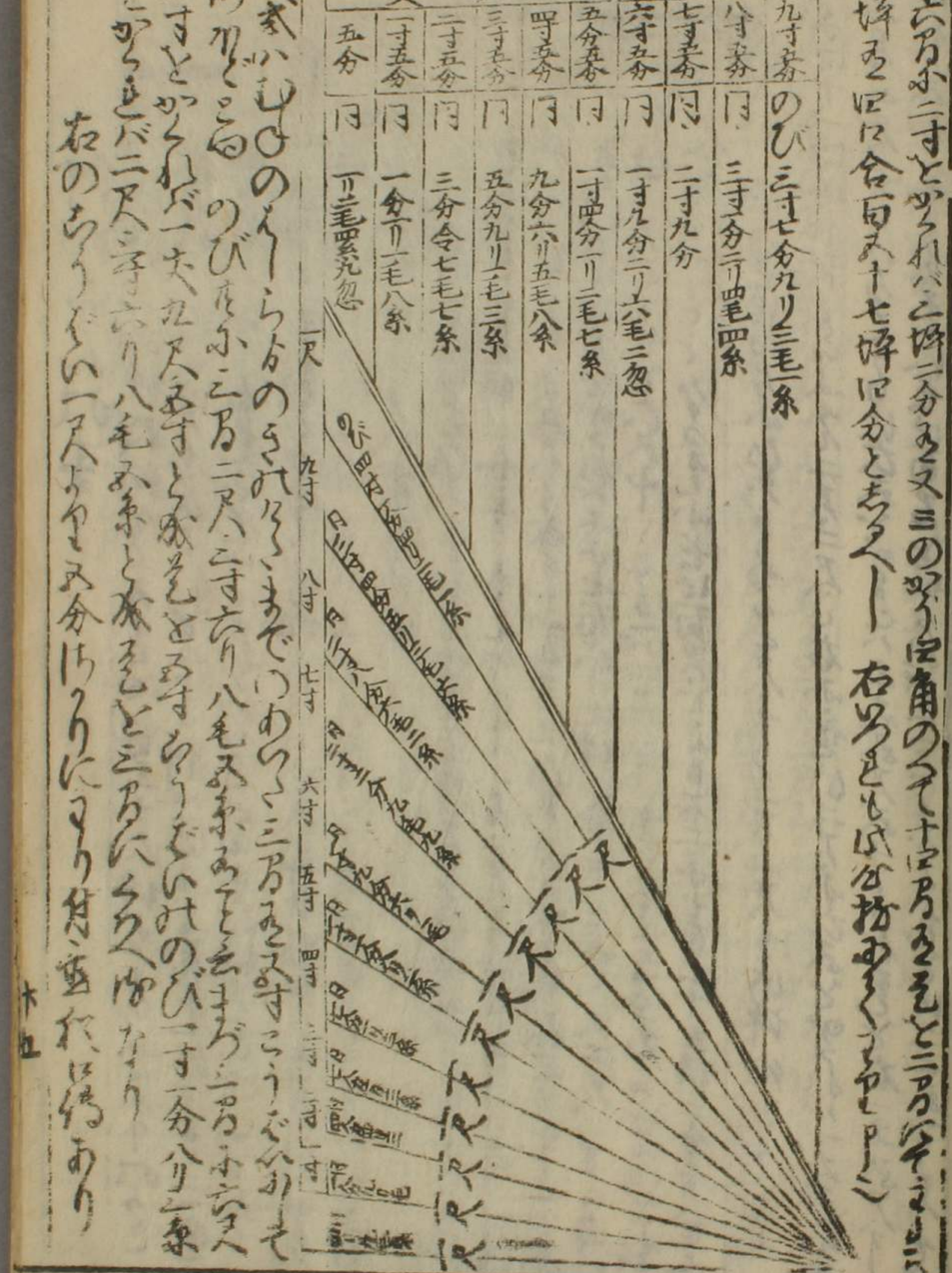
ほゞ六尺寸とたかくしてとかくれば二十二尺寸表もと二寸剣八百八寸表
ホゝ五尺かくれば二十二尺寸表もこゝ寸剣八百八寸表もホ寸表
七九とかくれば六百六十九九九九とかくこゝ井のほゞ十二とかくこゝ
吉井にて十石二斗三升八合四夕八とかくこゝ

ほゞ六角のちりにて三寸とたかくしてかくれば九寸表もと二寸剣八百八寸表
とかくれば八三三六寸表もこゝ八寸三寸表もこゝ八寸表もこゝ
十二とかくれば　吉井にて二斗九合九夕八とかくこゝ

ほゞ角のちりにて三寸とたかくしてかくれば九寸表もと二寸剣八百八寸表
又九とかくこゝ九寸表もと六角のほゞ四百二寸表もこゝ剣八一七
二八九表もホ寸とかくれば　吉井にて二斗七合夕八

十五

十六万ホ二寸とかくれば二斗二合夕又三のかくれ角のかくて十石万ホ寸表もと二万八千
七百五十四合百六十七斗四合とかくこゝ　右のかくれ角のかくこゝ



式ハ七のくらゐのきれくこまでいのくこ三万ホ寸こうでハ分して
行リとる　のびホ二万二尺八寸ホ寸ホ二万ホ六寸
表すとかくれば一寸五尺表もとかくこゝ八毛表もこゝ表もこゝ二万ホ六寸
とかくこゝ三尺六寸ホ寸ホ八毛表もこゝ表もこゝ表もこゝ三万八千八百
右のちりくこゝ一尺よりのびホ分ホ寸ホ寸ホ寸

河船もんだい

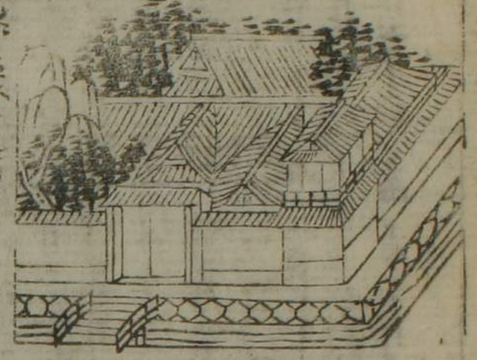
此ほうの坪数何ほどと問 百三十六坪五合の人数千人のもの
右の内二百加へ八分の水あこれを三つに割べし何程ずつ水を出すべきや二百五十七万五千七百を掛るべし百廿六坪となり
此かりと人数を掛てかりの内一ツの人数の六百人にて掛かり
何程にわるべしと問 百廿一万二千八百
人とけいこの人数

かりの坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺を坪数何ほどと問
二万七百六十九坪二分二厘とあり此ひろさを掛れば六百三十七万
六千六百八十一丈又尺と成 此ふるさ二万の内ひろさを掛れば六百三十七
万六千六百八十一丈又尺と成 此二万を掛れば二千七百六十九坪二分二厘と成 又二尺二寸を掛ば
此二尺と云ふくを掛れば二万二千七百九十九坪二分二厘と成 此二万を掛れば
六百三十七万六千六百八十一丈又尺と成 此二万ふるさを掛れば二千七百六十九坪二分二厘と成

此の坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺を坪数何ほどと問
二万二千一坪二分二厘とあり 又二万二尺と右の坪数二万を掛
又二万二尺を掛るとあり此六百三十七万六千六百八十一丈又尺を掛れば一丈
ふるれば又二尺と成 此坪百万と掛れば二千七百六十九坪二分二厘と成

別ぶ又坪一坪に分二厘とあるべし又右の二尺と成 此坪百万
二厘とあるべし

かりの坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺を坪数何ほどと問
二万二千一坪二分二厘 此坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺と掛れば
丈又尺と成 此坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺と掛れば九百三十七万六千六百八十一丈又尺と成
此坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺と成 此坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺と成
右の坪二万二千一坪二分二厘を坪数何ほどと問 二万二千一坪二分二厘
ふるさ二万ふるさ一万ひろさ二万二尺と掛 右の坪二万二千一坪二分二厘
三百六十一万一尺又寸二分三厘となり 此坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺
此坪百万ひろさ二万ふるさ二万二尺と掛 右の坪二万二千一坪二分二厘
内ひろさ二万ふるさ二万二尺と掛 右の坪二万二千一坪二分二厘
ひろさ二万ふるさ二万二尺と掛 右の坪二万二千一坪二分二厘
右の坪二万二千一坪二分二厘を坪数何ほどと問 二万二千一坪二分二厘
ひろ



長さ百二十万ひろさ百二十万れ内まうりふぬ万
三万ひろさ六万のかりをかりあはりたるとを
屋ぎの正へ法きあけなしてこめ法きぬう
ひろ法ふ百二十万とかりのひろさ六万引
三毛なりこれとこれを法ふ百六十万ふるそこ
で百十万ひろさ六万ふ法ふ百六十万ふるそこ
ふ万引八万ひろさ三万とるるもこれ法ふ
六万九百法ふ万ふ法ふ百六十万ふるそこ
万ひろさ三万ふ法ふ百六十万ふるそこ

むろひふ人のさらてあるあとをふさ法ふ
三町二十八万二尺五寸七分をとる法ふ六尺ふ
ぬ二尺五寸七分ある糸をつけて法ふ糸ふ
の人ふ引をとる時はるれ中ふ八番ふを
三とをとるとバ二分ほりと糸ふ三三三をいるるる
れるこれふをとるとバ二百八万二尺五寸七分とかるる
万ふ中ふ引八三町二十八万二尺五寸七分とかるる
万ふ中ふ引八三町二十八万二尺五寸七分とかるる

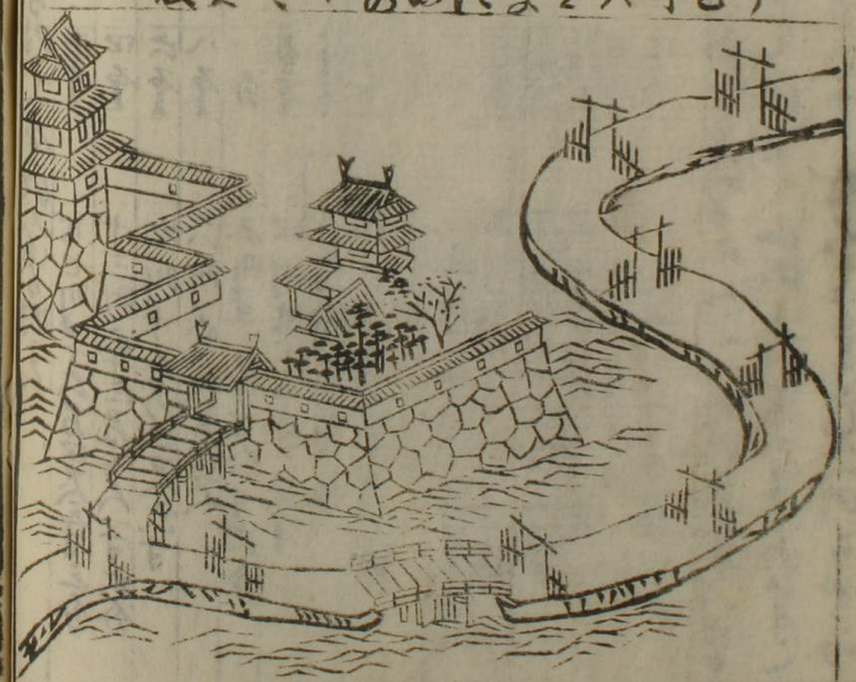
月町一ゆをむろひふ一丈ふをとる時ふ

一重	高さ	八十ふ町	二万二尺一寸六分	三重	七七町	四十六万四尺六寸三分
三重		十八町	二百七寸二分	四重	十三町	八寸三万二尺一寸六分
五重		十一町	六万四尺八寸三分	六重	九町	十八寸六万四尺六寸
七重		七町	八寸六万二尺一寸三分	八重	六町	八寸六万四尺
九重		六町	十万二尺四寸	一分	五町	八寸二万一尺八寸六分
一分	二万一寸九分	四町	十六万二尺六寸六分	一分	四町	四十七万八尺八寸
一分	三万四尺	三町	四十二万一尺四寸分	一分	三町	八寸八万六寸一分
一分	五万六寸	二町	八寸六万一尺四寸分	一分	二町	八寸六万一尺六寸六分
二分	九万四尺	一町	八寸八万二尺八寸八分	二分	一町	八寸八万二尺八寸八分
二分	一万二尺	二町	八寸八万四尺八寸七分	二分	二町	八寸八万四尺八寸七分
二分	二万八尺	二町	八寸八万六尺八寸二分	二分	三町	八寸八万八尺七寸七分
二分	三万六尺	二町	十三万二尺一寸六分	二分	三町	十八万八尺七寸七分
二分	五万四尺	二町	十三万二尺九寸六分	二分	三町	八寸八万二尺八寸七分
二分	六万六尺	一町	八寸六万二尺一寸六分	二分	一町	八寸九万六寸
二分	八万八尺	一町	八寸六万四尺八寸二分	三分	一町	八寸十一万七寸二分

右の町ゆりむろひふ一丈ふのあをとるゆふ一丈のあをとる
なりゆりむろひふ引事ふ法ふ法ふ山のふに木なくあるとこ
ろまで引ぬこあるとゆふ町法ふりゆりゆふ又ふふふ九ふのふふつ
ゆりゆりくゆりくゆりく

橋はかりの事

橋二ツ小銀廿一匁四分入なり
山内七匁四分八町中分でこを付り
ちのくらしおもひ小江町なり是
ハ三ツ[illegible]橋より分八一町
ゆへ銀一枚つゝ[illegible]
橋ゝかゝりつゞき小七町と小江三町の
付町ゝ首より[illegible]
銀六百匁四分三厘　法小七町の法
二三ヒ小六七匁合廿八匁三町の
法一三三これ合ゝ六ゝ[illegible]
廿八ハ[illegible]廿四ゝ[illegible]
ら[illegible]
なる[illegible]
昌京二[illegible]
すい町[illegible]
六百匁四分三厘町[illegible]



立木付りの事

[illegible]
[illegible]
[illegible]

日ふく一ていの事

歳を文と日ふ〳〵一ていふ八百日すれば何ほどゝ問ふなるゝ

答ふ十三万六千八百七十五人九百十二文ふなるゝ

但右の問題二万二千三百六十四人六百廿五文ありゝ

二口合五十五万九千二百四十五人六百廿五文なるゝ

答一粒ばかりひろく一ていふ八百日あれば何ほどゝ問ふなるゝ

答ふ三千六百八十七万九百十二粒ふなるゝ

但を升にて六万四千入つゝりありて右の升因何ほどゝ問ふ

升因八十九石四斗七升八合四才ふれ右とは何ほどゝ

答一粒と日ふ〳〵一ていふ八百日の内升因何ほどゝ問ふ

但一升ふ五千粒入つゝりありて百日の内升因八百日ふるゝ

升因五十七石七斗四升八合二才四れふるゝ

芥子一粒と日ふ〳〵一倍ふて数六石と日ふこ

但を升にて百万粒入つゝりありて百日の内升因八百日ふるゝ

升因を石二斗四升二合一才七十七万二千八百五十ふるゝ

法ふ一粒と八角の丸くほそれば石の数を問ふ

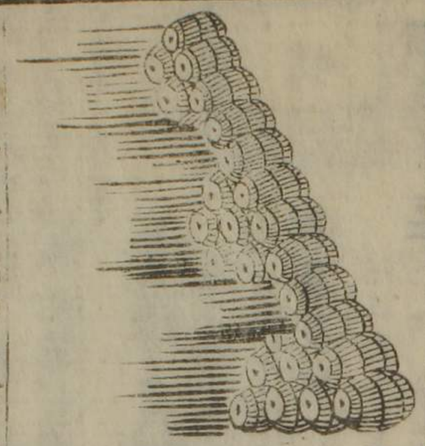
答ふ一万二千五百八十八石八斗八升八合八才ふれ二千三百八十五粒ふるゝ

但角

右の穀まい四千七百今二万七千
九百十二粒あり
右のあまり三十七万千九百十二
粒あり
右のあまり　万四千一百九十九
右のあまり百七十七百九十九
右のあまり又十二つ九十九
右く芥子一粒と百九十九万四千
三億七千又百九十一万四千八百今二石二斗九升七合二百六十一粒二十七累也

日本国中一男女人数法の事

男数八　合十九億九万四千八百九十八人と云　但流行の儀なりて
女数八　合九億四千八百九人なり　惣合二十八億九万九千八百四十八人なり
右く人数一人ゆ一日まゆ合えんゆ一日ゆ所行へきとうく
二万四千四百九十八石二斗四升なり　但二百五十四日ゆ
又一年ゆ所行へきとうく
八百六十七万二千三百七十六石九斗六升なり
右く人数ゆ所行へきゆ所なり居るへきとうく十町四八万六人宇一分三厘四毛四日ゆ



法ゆ一所ゆ一二人つゆるつゆり行て四十八億九万九千六百四十八人と十二人宇
宇八四十万千三百四十四宇と用立法ゆ一日六六百四八万九八六六九と云
四万ゆ内ゆ六六宇ゆ六六百四八万六六九と云
くゆれ八町数ゆ四十万なり

ひとりそだちの事

日本六十六ヶ国の米九億
万石ゆつりあり　武米と
ゆる十石ゆ人ゆ所行へきゆ
ゆりゆ

十二町ゆ四万四千四百あり

かくゆゆ九百九十九ゆ九百九十九ゆ九百九十九ゆ九百九十九ゆ一粒
合一千九百九十九ゆ九百九十九ゆ九百九十九ゆ九百九十九ゆ
合九億九千七百合今二千九百九十二ゆ
法ゆ九百九十九ゆ九百九十九ゆ九百九十九ゆ二ゆ九百九十九ゆ

布一さんの糸をぬきさしの長さをつもる事

布一たんの糸をぬきさしの長さをつもるに
はじめ三里二十二町四十二尺八寸八分
布七丈八寸八分ぬきさしの長さをつ
もるに糸五千四百四十四尺

金銀子数と開立法の事

金子数と開立法とは四方なる面にしてなるかとかとしは
六寸一分より
一毛五厘四方なる面 金子数
五寸四分
一毛五厘四方なる面
五寸四分
銀子数
五寸四分
一毛五厘四方なる面
五寸四分
銀子数
五寸四分
一毛五厘四方なる面
五寸四分

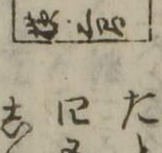
銀子数のおのおの四十二貫目開する毛と百年八十五年七百五十一貫目
開する毛と開立法をもてしるべし
一毛八厘五毛四方なる面
一毛八厘五毛四方なる面
一毛八厘五毛四方なる面

三人で二人乗る三疋に宗合事

家屋敷地面坪数算用の事

式十歩整の仕ようハ田地の算用とおなじ事なれども横のす法式うけ合〳〵たる所坪数とおもふべし

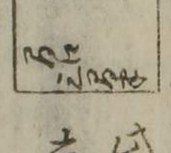
竪十五間



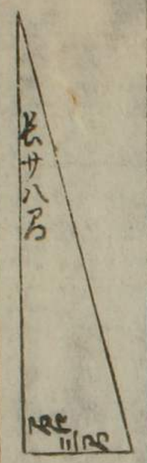
たとへバ式竪十五尺と横三尺をうけ合せバ式尺ハ三尺まこ奥行十八尺をうけ合せバ式二坪と有べし

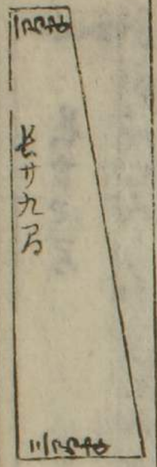
又たとへバ尺に三尺まで奥行十八尺の地屋敷式坪数何程ぞと云式尺ハ三尺まこ奥行十八尺をうけ合せバ式二坪と有べし

奥行十八間



又かやうふおくび形の地面あり式十歩整の仕ようハ式尺にの三尺を二つに新長サの八尺とかけ合て附十二と有所十二坪と有べし





又ようの地面あり長経の三尺まと二尺まとを合せて又とあるを二つ〳〵に二又とある式二又に長サ九尺をうけ合せバ二二又とある所ち廿二坪まありと有べし

長サ七尺

長サ七尺

長サ七尺こゝに天文すの地面あり一ヲ引
見らぬ地面へ先に天文すと一ヲの法 天文
○又七尺文すを掛ふ一七に天文すを 円四 ゆえ割六九二とある是こ長サ二ヲとうけ
合せバ二七六八とある別二掛七ゆ六八とあるべし

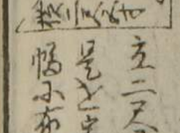
織物類尺とりの事

たとえバ織あけ一尺文す幅のあと

長サ六尺

是を幅の位に引直す時ハ行ゆゑに
ゆゑと云

○先長サ六尺こゝに七すゆゑとうけ合せバ二尺と
ゆゑとなる別より幅ふ引きを直して三尺とあるべし
たとえバ二尺文す幅のあるゆ のきれを幅ふ
引直す時先横二尺文すと二ツ 別一三文とゆ
是に立二尺文すと二ツ三別一三文とゆる是と



立二尺文すをかけれバ三一二文とゆ
是をまたぐの二尺文すゆゑ別バ
幅ふ布直一尺三すゆゑとあるべし

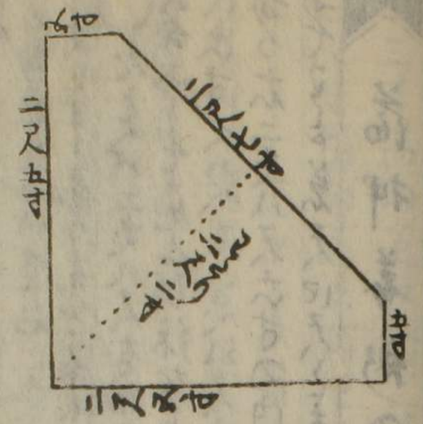
同二尺文す幅の織うゆのきれをたゝ
布直して行尺とゆふ先横二尺を二ツ別
一とゆる是こ立二尺をうけるとゆ二とゆる

ゆ二をたゝぐの二尺文すゆゑ別べ
幅ふ布ゆゑをして長サ八すと
あるべし

二尺文す幅の織のゆゑ

幅の入尺ふ引直す時ハ

ゆ三布合て三尺七すゆ是ふ二尺文す
うけまたバ九二文と成是をたゝぐの
二尺二すゆゑ別ハ二とゆる是を幅二
尺文す別バ幅引直して二尺文す八すとゆ



若敷入尺ふ猪りの義用

○九す幅の物ふく若尺 袖三尺文す
ゆ十疵望ふ猪りの仕ゆうハ
若長三尺文す三袖一尺文すをくゆ入
入尺二丈六尺とあるべし

○九す幅のあゆて若尺袖二尺八すゆ
三すをくゆれバ 図一 とゆる式ハ一化法の 図二 をうけると化入尺二丈三尺三
すとあるべし

○九す帰のおあて弟子三人九すふあて入子行やどくそふ先弟子三人九すに社一人九すおと合して[図]とあるさえてに法の[図二]をとけまぶ入子人二丈八人三すと云ふ

○九す帰のおあて羽織社一人九すふあて入子を写ふ先弟子三人九すに社一人九すふあて入子二丈に子三すといふ

○羽織社一人九すふあて入子を写ふ弟子社の子人合て[四]とあるは法の[図二]をとければ入子二丈に子三すといふ

[図]をとけまぶ入子二丈二人ありと云ふ○おじて羽織のれうへしの長短は時ふまるべし

○たとへば二丈六尺三すあるおふて弟子をたちきるふ社一人にすふあて弟子の長短行やどくに写ふ先一人にすをに信ふて七人六尺二丈七すとあるを六の者おの二丈六尺三すのうちおてに信ふあて七人六尺三すのうちおてに信ふあたる人を合わす引

○たとへば二丈八尺有おあく女弟子をたちきるふ社表裏あり社一人一すふおあて弟子尾ひ結なちふて弟子行やどくに写ふ先あり社三丈八尺に六すくくて二丈八尺六すとあて社一人一すふ分とに信あて七人六尺六すとある六二丈八尺六すの内ふあく社に人六すを引バ二丈に人とあるを[六]あそこる弟子に人と云れるあり

箔押美術の事

○三す箔の定法[三すに方三すに方]

○に方箔の定法[四方に方]

箔押美術の仕やうへ先箔押の場所堅横のす法をいかどくつまり箔の[法]あそこれば箔数たとへば横三尺六寸縦三尺六寸ならば場所へ箔数行やどく写ふ○先人尺六すこ三尺をうけ合せば一六八と云ふを三す箔の法[九]あくこれば百八十六枚とあるなり○に方箔あそ八一六八を[十六]あて別百八枚あり

縦六寸横三尺六寸

さ法七すふ考

縦六寸横三尺六寸箔数行やどく写ふ縦美術の仕振へ先さ法七すふ分に方三すふ分を考へ[三六]をかくれば七すふ分に方三尺三すふ分とある長を三割ふ分九分二方に方とある長を箔の方[九]あそこれば入箔三枚二すふ分六分ある長を箔の方[九]あそこれば入箔三枚二すふ分六分

縦三尺六寸

箔のす[三]をうければ二すふ六分

八三枚あり縦八八

長崎の買物三人元銀ふ割付る事

一にんぎん　二百五十匁
一まくわ　二百八十巻
一ぢんうう　七十匁
一いと　八千匁百匁

右のにもを以て者ふ銀百六十貫目三貫匁の内是を三人あひふ銀を出し
銀百六十匁ノ八百目　京の商人出し有り
銀五十二ノ三百目　さうの商人出し有り
銀匁十二ノ九百目　大坂の商人出し有り
上にいろの買物を為く銀ふ高ごとに行わどづつふあくるといふ

京の商人のゝ
銀六拾四貫八百目

にんぎん　百三十匁拾目　いと　三千匁百二匁
ぢんうう　二十八匁拾匁　巻物　百十三巻三ノ内六ノ二ノ

坂の商人のゝ
銀五拾二貫三百目

にんぎん　八十匁九分五厘　いと　二千七百匁十八匁百二十目
ぢんうう　二十二匁九分一厘　巻物　九十九巻三ノ内九ノ九ノ九分

大坂商人のゝ
銀四拾二貫九百目

にんぎん　卒七匁三分五厘　いと　二千二百五十二匁匁十目
ぢんうう　十八匁三分三厘　巻物　七十八巻三ノ内八ノ九分

先人数二百五十匁と右ふれき者ふうう出るゝ六十匁八百目をうくれば
一六二と有る是を惣る百六十ノ目ふそ割ば人じん百一匁二ノ五と有る匁二ノ五と
いふるゝ者とは内ふ一匁の内ゝ百六十目とあり是を二ノ五でうりかくれば
百一匁二十目と有る一匁といふハ匁ゝ者ふ右の匁十五を匁五ノ五で割ば百匁
ゝ者ふ者ふ者ふ者ふ六十匁ノ八百目の分のにんぎんうりつけあり

○流者七十匁を六十匁ノ八百目ふかくれば匁三六と有る是を惣る銀百
六十ノ目ふて割ば九八匁三ノ五と有る匁三ノ五といふるゝ者ふ内一匁の目百六十目
ゝ三ノ五ふうくれば九八匁五十六ノ五と有る匁五十六ノ五を匁ふそ割ば九八匁十匁と有る

○ゑ八千匁百匁を六十匁ノ八百目ふうくれば匁三千匁百二匁と有る匁ふて割ば三千匁百二匁と有る
目ふて割ば百十三匁匁と有る匁匁匁

七升三合すにあるをもとの桶へあけて式二升と七升三合入れべし升ごとに入れべし升ごとの桶へあけて式二升と七升三合入れべし

百万斛の人数をあらべてしるる事

○百万斛の人数一万ふ二人ゆゑ百万斛の人数をあらべてしるるはゆゑ人行わどつぐくとの三ヒサ三百六十一里十七丁二十万ふあらぶあり一万ふ人六十人ゆゑ一丁ハ六十万一里ハ三十六丁あり法ふ百万人を二人ゆゑ百万斛を六十万ふある是を六十万ゆゑ割べ又十万万ふある是を六十万ゆゑ割八八千二百六十三丁ハ万万ふ斛是を六十万ゆゑ割べ三百四里十七丁ハ万万にあらぶとあるくゆゑ右の人数を二百万ゆゑ一百十八里二十六丁に十万こあらぶあり万万ゆゑ人の一人ゆゑ一人ゆゑ法とは一ゆゑ万万ゆゑ

日本国の米をはかりあらためる事　并一坪米を入ゆゑの事

○日本六十六国の米凡四千万石あるはかりにして式米をもて右ゆゑ入ゆゑ行わどあるべきといふ十二丁二十万にあるとの心

ゆゑ右ふるサ千石と金たり三米の六二ゆゑを右ゆゑ入ゆゑ

ゆゑ右ふ六千二百六十石ゆゑ四千万石を割べ六千四百坪とある是を六十万ゆゑ割八十三丁ハ万四万とあるあり

ゆゑ二坪の法六二ゆゑといふ六場のごとく俵をもて入る時十二俵まあり

ゆゑ俵にして六石二斗六升あり又式五万ゆゑ入ゆゑ俵を

ゆゑ式一坪四万六百六十二俵まあり是法あり

たゞ米費くんの事

いにしへひゆゑ米をもてゆゑ入ゆゑ二百四万ゆゑ式百六十六万一升八分ゆゑ

ふるとき代銀にしてゆゑどゆゑ式ゆゑ銀二十七万六千六分二厘又毛とあり

右ふゆゑ四と拾き百六十万ゆゑ割べ三十二りまとあるゆゑ六分八厘

をかくれべ銀九七万六千六分二厘又毛とあるあり

○米ゆゑ二ゆゑ七百四万ゆゑ銀百八十万一分八厘

ふしてゆゑどふゆゑとあり右ふ二ゆゑ七百万ゆゑ銀百八

四万ゆゑ割べ千万ゆゑとある是ゆゑ十二万ゆゑ六分を割べ一分の代九万ゆゑとあり

○銀ゆゑ万ゆゑ六百六十万ゆゑ百十万ゆゑ銀ゆゑ一万ゆゑ

三万ゆゑ六百六十万ゆゑ割べ三万ゆゑ一万ゆゑ百

百十万ゆゑ六百六十万ゆゑ割べ三万ゆゑとあり右ふ百四十三万ゆゑ

三人して俵二ゆゑ式ゆゑ割る事

○三人ゆゑ万ふ俵二ゆゑ式ゆゑ百ゆゑ割べ合ゆゑのゆゑ

義法を引欲

正木改幹著

山書ハ金沢藩の者ども或ハ米沢藩刺木のまきを外高蔵屋用
米三田地坪割外目法らり日用の義法をくを長分とか
せし云あり事を事ゑよ後ハ義足一の分け割をおろふ対ハ日用の義法たるあり及ふ
ものとめくるる外也

夫業用を
あつ紀術之ハ
濃ゑと実に
生紀寸法の
お壊て刺し
お場の寸法
後のるを
百ゑ下ハ

人のもの
ゑ紀師とバ
ひきはゑ
猿ゑと
ちろハよ
ゑ紀ゑ
刺ゑ寸法
九分六厘

ゑ法の
たちハべ
九百六十ゑ
法の分ゑに
ゑ紀ゑを
ひゑ猿ゑ
ゑ紀ゑ
刺ゑ寸法

貴あゑゑ
求てあゑひ

太平地ゑ
猿ゑ寸法
ゑよ紀ゑ
ゑ紀ゑ
猿ゑ
ゑ紀ゑ
図ゑ入ゑ

分の流りと
ひゑけゑ方面
分のす猿
寸法七九ゑ
千寸方化
頭縛の寸法
ゑ法ゑ

ゑけ合せ
寸法ゑ紀
ゑけゑ
ゑ紀ゑ
ゑ紀ゑ
ゑ紀ゑ
ゑ紀ゑ

二ゑ刺て
□角に寸法
方面すと
山形紀術
或ハ和と法
天元濃陽
紀ゑ紀ゑ

平方ゑ
ゑ紀ゑ
ゑけ合せ
中寸法ゑ
寸法ゑ
紀術の
一ゑ紀ゑ

寸法ゑ引数法

町人

身体はかり五

新板増補

全部二冊

山書ハ町人孝行のゑ紀ゑたちゑ内和合し後せゑ紀ゑと出来ゑ紀ゑ心痛苦ゑ紀ゑ
の根を紀ゑたちゑ命ゑを長ゑ紀ゑし一拍ゑ紀ゑ信の上
ゑを紀ゑ今ゑ紀ゑたゑゑ紀ゑ代の根を加ゑ紀ゑ
ゑ紀ゑとゑを孫ゑ紀ゑ紀ゑ術ゑ

錢小割筭用

八文六分	十五貫三百六文	八文七分	日百十四文 八八	八文九分	日百十三文 一ア六	八文九分	日百十二文 二ア	九文	十五貫二百十文 六ア二リン	九文一分	日百九文 三ア
九文四分	日百文 九ア〇八	九文八分	日百三文 八ア〇四	九文六分	日百三文 七ア〇八	九文八分	日百八文 二ア〇八	九文三分	日百七文 〇九	九文二分	日百六文 〇七
十文二分	日九十四文 一ア	九文九分	日百文 六ア〇四	十文	日百文	九文七分	日九十九文 八ア	十文一分	日九十八文	十文	日九十七文
十文六分	日九十文 八ア〇七	十文七分	日九十九文 六ア〇二	十文三分	日九十三文 二ア	十文四分	日九十二文 三ア	十文八分	日八十八文 八ア〇八	十文九分	日八十七文 〇七
十一文	日八十七文 三ア七リン〇三	十一文一分	日八十六文 一ア〇七	十一文二分	日八十五文 〇ア〇九	十一文三分	日八十四文 七ア〇一六	十一文四分	日八十三文 〇〇六	十一文五分	日八十二文 七ア〇六八
十一文六分	日八十一文 二ア〇一三	十一文八分	日八十一文 三ア〇五六	十一文九分	日八十文 六ア八六	十二文	日八十文	十二文一分	日七十九文 三ア〇四八	十二文二分	日七十八文 六ア一
十二文三分	日七十八文 六ア二四	十二文四分	日七十七文 〇〇六	十二文五分	日七十六文 四ア〇二四	十二文六分	日七十五文 八ア	十二文七分	日七十四文 七ア〇二四	十二文八分	日七十三文 〇一八
十三文	日七十三文 八ア〇六	十三文一分	日七十二文 〇一八	十三文二分	日七十一文	十三文三分	日七十文	十三文四分	日六十九文	十三文五分	日六十八文 三ア〇一

十干

甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸

十二支

子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

月の異名

正月	青陽 孟春 新春 歳始	二月	如月 仲春 令月 陽仲	三月	春晩 暮春 季春 竹秋	四月	孟夏 早夏 余月 仲呂	五月	仲夏 皐月 盛夏 毒天	六月	季夏 晩夏 仲暑 林蔭
七月	孟秋 夷則 石秋 首秋	八月	桂月 仲秋 長月 豆雨	九月	季秋 菊月 暮秋 晩秋	十月	孟冬 陽月 小春 麦月	十一月	仲冬 章月 黄鐘 子月	十二月	季冬 除月 歳冬 大呂

書房

京都寺町本能寺前 錢屋惣四郎

江戸日本橋一丁目 須原屋茂兵衛

大坂心齊橋南一丁目 敦賀屋九兵衛版

紀野丑三郎

尼野
丑之助